



校友会活動も知恵と革新が大切！

産業能率大学通教校友会 会長 佐藤 富夫

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、つつがなく新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より校友会活動に対し、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

人生に一度は予期せぬことが起こるとよく話題になりますが、人類史上まれにみるコロナ禍に世界を始め私達日本国も、まともに飲み込まれた2年間でした。今後も十分に自身の体調に気を付けていただき、校友会活動を始め社会活動も大きく変化を要求されている今日この頃です。私達校友会活動をいかにしたる邁進出来るかを今年は、一往懸命考えながら前進あるのみと考えます。

さて、コロナ対応にて日本国内の病院経営の具体的な対応のプランの変更等、今までは数年かけて徐々に移行し普及していくといったものですが、

コロナ流行により、ライフスタイルや働き方などの急激な変化を余儀なくされました。コロナ対応主体となり他の病気や生活対応が疎かになり後退しています。国民病の一つに認知症があります。ところが認知症の方をサポートする介護施設要員が不足しており、外国人の活用を図る必要があるとして国家的対応として、外国人介護職員の介護福祉士の資格取得支援などの外国人介護人材受入施設等環境整備事業を進めていますがコロナ禍で足踏み状態です。私事で恐縮ですが、3年前に特定技能介護に特化した海外日本語介護教育機関をフィリピン・ベトナム・ラオスに展開致しました。外匡人介護職員が夢を持ちその夢を実現出来る環境を日本と自国に提供出来る企業で、日本国内には介護職員紹介所を設けて活躍できる場所を紹介するシステムを実施中です。現在、私の主力の仕事の一つ

です。私の思いは、人生と校友会活動と経営コンサルタントは全く同じ行動と考えており内容の違いこそあり、自身の健康管理と何事も有言実行型の実現が一番大切な時代に再突入の令和4年と考えます。

多くはオンライン化されて大変便利な時代に見えるが、人対人の対面活動なしにはコミュニケーションは出来ません、どのような工夫をしたら対話が出来ることが大切であり、その実行を図ります。今後も会員の皆様方のご意見に耳を傾けながら方針を策定して実行します。

大学及び校友会の益々の発展を心より願い、有言実行に向け活動を展開して行きますので、昨年通り変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願いすると共に、皆様の益々のご健勝をお祈りし、新年の挨拶と致します。